

## 第10回大東市庁舎整備に関する推進本部会議 議事要旨

日時：令和2年10月16日（金）午後2時50分～3時45分

場所：委員会室

出席：野田副市長、水野教育長、松本上下水道事業管理者、田中理事、  
中村危機管理監、北本戦略企画部長、東政策推進部長、品川総務部長、  
木村市民生活部長、池谷人権政策監、青木福祉・子ども部長、  
奥野保健医療部長、今出街づくり部長、延田上下水道局長、北田学校教育部長、  
伊東学校教育部指導監、馬場生涯学習部長、  
大石選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局長、北田議会事務局長、  
（事務局）  
田川政策推進部総括次長、田中行政サービス向上室新庁舎整備G課長、川崎

### 【次第】

#### 1. 基本方針（素案）について

#### 2. 今後の進め方について

---

### 【※事務局より資料について説明】

（副市長）

従前は移転建替えということで議論が進んでいたが、今回は、基本方針では、5つの方針を設定し、これらを念頭に、移転、耐震化、増改築など様々な手法の可能性を検討していくとなっている。

今回のコロナ禍により、デジタル庁の創設など、行政サービスのデジタル化が進んでおり、この5年で窓口の在り方も、急速に変わっていくのではないかと考えられる。方針の一つにもある将来的な変化に対応できる庁舎、建物の柔軟性という観点は欠かせないと感じる。

基本方針については、ある程度できてきているので、これからの議論は具体的な整理に進みたい。庁舎機能については、すでに十分議論は行ってきているのではないかと、というご意見を頂いているため、今後は規模、整備手法などについて議論を行いながら、最終的にはどこに建てるべきかという場所の議論に収束させていきたい。

特に、規模については、デジタル化の動きもあり、向こう5年、10年でベストな庁舎規模はどのぐらいなのかという議論が重要。一定のバックデータを揃えながら、これ

らをもとに議論し、早急に固めていきたい。

前回の会議の中で、候補地、整備パターンについて、お考えを頂きたいと話したところ。本日は各自が思い描いておられるお話を伺いたい。

なお、本日の会議では、各部等の長という立場に縛られることなく、個人的な考えを含め、自由にご発言いただきたいことから、議事要旨については発言者の記載を控えさせていただくこととする。忌憚ないご意見を願います。

#### 〈委員からの主な意見〉

○防災面を考えるとアクティブスクウェア大東を候補地の1つにいれてもよいのではないか。警察、消防との連携が容易になり、強固な防災の拠点となるのではないかと。

基本方針については、新規建替え、耐震、増改築という表現が、整備場所が現地に限定されているような書きぶりに見えるのではないかと。

#### (事務局)

全くそういった意図はない。表現について再度検討する。

○コロナ禍を受けて、ICTの活用等により、庁舎規模の想定は若干変わるかもしれないが、全体的な庁舎のイメージはこれまでの議論の中である程度できていると考える。整備場所が決まれば、その後は比較的早く進んでいくのではないかと。早急に場所を決め、できる限りシンプルに進めていただきたい。

○庁舎としての機能はほぼ決まっており、規模は少し縮小すると考えている。ただ候補地だけが決まっていない。前計画の候補地は今回も候補地として挙がってくるのか。明確にすべきではないかと。

○どこの自治体でもやはり場所の選定に時間がかかっている。既存の場所からの移転は、新たに利害関係が発生する可能性が高く、結局、現地で進める例が多いように思う。ということからすれば、現地もしくは近場の公有地で考えるべき。近場というところである程度の面積を確保できる公有地に市民会館がある。市民会館は耐震改修しているものの、老朽化が進んでいる。公共施設の再配置を考え、庁舎機能と合併し、貸会議室を残しつつ運営できれば、市民会館機能、市民協働の発信の場としても利用できるのではないかと。

○市民会館については、庁舎機能がすべて入るかといった規模の問題もある。仮に、集

約ができない場合、例えば、部門ごとに集約する等、市民がわかりやすい形であれば、それはそれで良い案であると考えている。

○前回案は議会の同意を得られなかったため、再度、一から議論を始めていると認識している。議会にも賛同され、事業が進んでいく考え方であれば、費用の検討も必要ではあるが、積極的に賛成したいと考えている。場所の議論も大切であるが、事業が停滞することは大きな損失であり、少しでも早く中身の議論に入りたいと考えている。

○早期実現がまず肝要。そう考えると、現地や市民会館も候補地となり得ると思う。

○基本方針にある耐震補強、増改築には不安を感じる。

災害時に対応しやすい場所と考えると、例えば、緊急輸送路に近い、浸水深が比較的浅い場所となると、やはり現地が良いのではないかと思う。現地であれば、近くに大東中央公園があり、災害時に市役所機能のサブ拠点として利用できる。庁舎を建て替え、可能であれば鍋田川を越える連結の橋梁を作るなどすれば、複合的に使用が可能となる。

床面積については、コロナ禍により100が50になる可能性もある。将来的なことを考えると、小さくコンパクトにできる仕様。例えば、貸事務所に活用できるような施設としておくのがよいのではないか。

○基本方針の1つ目の柱は、八尾豪雨を想定しているとのことだが、近年、それ以上の雨も想定される。職員が参集できない、不夜城のような建物になり得る。サブの機能をどこかに作ることを考えるのであれば、現地や市民会館がよいのではないかと考える。

○耐震、増改築については、基本方針の1つ目の柱『大規模災害時でも市民の安全・安心を守り、事業継続が可能な庁舎』を満たすことができるのか疑問。

○総合文化センターということも考えられるのではないか。

総合文化センターは改修が必要であり、改修費用を算出すると6～7億かかり、単独での改修は難しいため、庁舎と複合化し、改築していくというのもよいのではないか。

大きな話になるが、公民連携で、隣の公団住宅、総合文化センター、庁舎を含めて進めていく方法もあるのでは。

○規模によって、大東市の公有地で建て替えられるか、土地を取得する必要があるかを考える必要がある。土地の取得が必要な場合、地権者との調整が難航すると、早期に事業を進めていくことが難しくなるので、それも踏まえて、規模の検討をしっかりと行う必要がある。

○床面積のことを考えると、コロナ禍以前であれば、現地建替えは、仮庁舎が必要であったため、費用の抑制のため移転するしかないと思っていた。ただし、コロナを経たことで、床面積が縮小し、仮庁舎が不要となれば移転する必要もなくなる。また、複合化ではなくシンプルで単体の庁舎が良いのではないかと思う。

○庁舎整備については、平成24年から検討している話なので、早くスムーズに進む場所を条件に選定した方が良く考える。事業を最短で進めるという視点が重要。

○前回は地域活性化の起爆剤という視点があったため、候補地はより駅や商業施設に近い場所となっていたが、今回の方針の中では、地域活性化といったことは特に触れられてない。そうなってくると、この場所を積極的に動かすということについては、よほどの理由がなければ難しいのではないかと思う。あえて言えば、アクセス性についての記述はあるものの、現地でも許容範囲とも言えるので、移転といった視点は弱まると感じる。なお、今日の会議で出ている市民会館については、本庁舎にも程近いので、ある程度説得性はあるのではないか。

○基本方針を明確にさせていただいたので場所の議論はしやすくなった。ただ、5つ目の柱の『市民・行政の共創の場となる庁舎』というところが、やや抽象的に感じる。例えば、民間のテナントやサテライトオフィスを入れたり、コワーキングスペースを作っていくなど、複合化の流れを表現しているのであれば、またイメージが変わってくると思う。

皆さんの意見を聞いて、建替えにより地域活性化させようといった路線からは一歩下がった議論が目立ったと感じる。方向性として、前回、活性化につなげて進めていくことが難しかったため、今回は市役所としての機能をしっかり守っていこうという方向性であれば、場所の選定も見えてくると考える。しかし、地域活性化もイメージしているのであれば、もう少し幅の広い意見が出てきてもよいのではないか。

(副市長)

各委員から貴重な意見を頂戴した。先ほど述べたように、この会議の場で一つの答えを導き出していくのは少し難しいと感じている。追加調査する箇所の絞り込みについては、本部長である私に一任していただきたいがどうか。

(全員)

異議なし。

(事務局)

基本方針については、一部意見があった部分は修正するが、今日の会議で一旦、(案)として取りまとめることとし、市議会やホームページで対外的にもお示ししていきたいと考えている。よろしく願います。

(副市長)

それでは、本日の会議は以上で終了する。

※今回の会議要旨においては、発言者の特定は控えさせていただいております。